施策事例 7 健康福祉関連施策

松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業

自治体情報

人口	227,474 人
標準財政規模	50,624,045 千円
担当課	長野県 松本市 健康福祉部医務課・健康づくり課(松本保健福祉事務所総務課、松本医療圏2市1町5村担当課)
電話	0263-34-3262
ホームページ	http://www.city.matsumoto.nagano.jp/
事業期間	平成 20 年度から
参考とした施策	飯田市他・飯田・下伊那地方の産科医療連携システム
関係施策分類	

施策の概要

1 取り組みに至る背景

産科を担当する病院医師の不足により、産科病院の休廃止が相次ぐ危機的状況の中、平成 19 年 3 月 28 日、長野県産科・小児科医療対策検討会から、長野県地域医療対策協議会に対し、「長野県の産科・小児科医療のあり方」に関する提言書が提出された。その提言を具体化するため、平成 19 年 8 月に設置された松本医療圏における「松本地域の産科・小児科医療検討会」において対応・方策について検討を進めた。

2 事業内容（目的・目標・方策）

（1）目的

これ以上の産科医療体制の崩壊をくい止める緊急避難措置として、松本医療圏構成市町村、医療機関並びに医療団体により、平成 20 年 5 月 26 日、松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会を設立して、病院産科医師の負担軽減と離職防止を図ることを目的とする。

（2）協議会の構成

構成機関
①行政関係 松本保健福祉事務所・松本医療圏構成 3 市 1 町 5 村 （松本市・塩尻市・安曇野市・波田町・麻績村・生坂村・山形村・朝日村・筑北村） ②医療関係 松本市医師会・塩筑医師会・安曇野市医師会 信州大学医学部附属病院・県立こども病院・日本助産師会長野県支部松筑地区

（3）事業

項目	目的・内容等
病院・診療所の連携体制の構築	分娩病院の負担軽減を図るため、分娩医療機関と健診協力医療機関の役割分担を明確にし、連携体制を構築するとともにその連絡調整を行う。
共通診療ノートの作成及び配布	分娩医療機関と健診協力医療機関間の妊婦情報を共有するため共通診療ノートを作成し構成市町村及び関係医療機関に配布する。
連携強化病院従事医師への研究費の支給	分娩従事医師の重労働を理解し応援する地域の意思を「研究費」という具体的な形で表し、支給する。
小児科・産科医療機関における機能分担の推進	病院小児科の効率よい運営を図るため、小児 1 次医療機関、2 次医療機関、3 次医療機関がそれぞれ担う機能分担を地域住民に明示し、望ましい受診形態を周知する。
地域住民への広報活動	安心ネットワークの円滑な運営のために地域住民の理解と協力を得るための広報活動を行う。

3 施策の開始前に想定した事業効果

地域住民の理解と協力を得て、このネットワーク事業が有効に活用され、病院・診療所の役割分担と連携体制を構築し、病院勤務医師の負担軽減と離職防止が図られることで、結果として地域住民への産科医療体制が確保されることが期待できる。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

特に分娩と妊婦健診を別々の病院等で行うことへの妊婦の不安軽減と、事業への理解と協力を得るため、報道機関、広報紙、ホームページ等による周知及び公開講座の開催等地域住民への広報と啓発活動を実施した。また、分娩医療機関及び健診協力医療機関の理解と協力を得るための説明会を開催した。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

(1) 共通診療ノートを 4,500 部作成し、平成 20 年 7 月 1 日より妊婦への配布を開始した。

(2) 共通診療ノート配布開始以来、妊娠初期から分娩医療機関を利用する妊婦は減少している傾向であり、医療機関の役割分担の推進と分娩医療機関の医師等の負担軽減が図られていると判断できる。

(3) 連携強化病院従事医師 50 名に、研究費を支給した。

(4) 本事業は、産科医療体制の崩壊をくい止める緊急避難措置として開始したが、医療者側及び妊婦側双方から肯定的な意見が寄せられており、産科医療体制を確保するためのモデルケースとなりうるものと思われる。また、産科医師等の不足は全県的な課題であり、このネットワークの他圏域への拡大について県へ働きかけるとともに、引き続き効果を検証しながら関係団体等と連携し継続実施していく。

松本地域出産・子育て安心ネットワーク

安心して出産できる環境を
―共通診療ノートをお渡しします―

安心ネットワークの構築にむけて

共通診療ノートの活用を

初診は

休日の妊婦健診は

公開講座
出産・子育てとお母さんの知恵
■日時　8月2日（土）午後1時30分～午後3時30分
■場所　県松本合同庁舎　講堂
■内容（講演）
・妊婦「共通診療ノート」の使い方
（講師）金井　誠氏／信州大学医学部
・赤子「お子さんが急病になったとき」の解説
（講師）松岡高史氏／松本市医師会
・松本地域の小児救急医療体制について
（講師）馬場　淳氏／信州大学医学部
■料金　無料
※申し込みは不要です。託児所あり。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

04

予算関連データ　松本市

平成 20 年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分：①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
9,076 千円		0 千円	1,992 千円	0 千円	0 千円	7,084 千円
①～④の名称・所管等	名　称		地域発　元気づくり支援金			
	所　管		長野県総務部市町村課			
	金　額		1,992 千円			
	補助率		10/10			